

附属幼稚園における絵具遊び活動

—幼児の行動等を考察して—

土井原崇浩、野角 孝一、玉瀬 友美（人文社会科学系教育学部門）
谷脇のぞみ、岡谷 里香、森下 英恵、都築 郁子（高知大学教育学部附属幼稚園）

Paint Play Activities in the Affiliated Kindergarten: An Inquiry into the Infant's Behavior

Takahiro Doihara, Kouichi Nozumi, Yumi Tamase

(Research and Education Faculty, Humanities and Social Science Cluster, Education Unit)

Nozomi Taniwaki, Rika Okatani, Hanae Morishita, Ikuko Tsuzuki

(Kindergarten Affiliated with the Faculty of Education, Kochi University)

要 約

本研究は、高知大学教育学部附属幼稚園において高知大学教育学部美術教育コースの絵画を担当する教員及び教育学部附属幼稚園の教諭が絵具遊び活動の場を設定し、美術教員と附属幼稚園の現場をつなぐ試みである。高知大学教育学部と高知大学教育学部附属幼稚園が連携したこの絵具遊び活動は、地域の「モデル校」¹の役割を果たす先導的・実験的な内容として、活用できる結果となった。

キーワード：アート、絵画、幼児教育、美術科教育

はじめに

本研究は、高知大学教育学部と高知大学教育学部附属幼稚園が連携し、幼児の発達段階を踏まえ、教育効果を上げる斬新な試みとして行った絵具遊び活動である。附属幼稚園の「モデル校」としての役割を強化発展させる実験的な保育内容でもある。

1. 幼児の行動を観察して

(1) 巨大お絵かき（絵具遊び）（図1.）

一早く登園した年少児は、絵具遊びの準備品を見て、描きたいという逸る気持ちを抑えるのが必死であるかのようにであった。容器にたっぷり用意された絵具を筆で混ぜながら、「まだ描けないの？」と楽しそうな笑顔を浮かべ、大学の教員（以後、教員と表記）と幼稚園の教諭（以後、教諭と表記）に話しかけていた。描きたい気持ちをどうにか我慢していたのであろう。

絵具遊びの時間が始めると、幼児がそれぞれに好みの色や筆、雑巾筆（スタンプ用）を選択し、巨大和紙（以後、巨大紙と表記）に自由に表現していた。特に描くテーマを限定していないので、塗ること自体を楽しむ感じにも見える。描き始めは、巨大紙の外側にしゃがみ込んで描いていたが、途中から巨大紙の上に乗って、描くようになった。教員が連結筆（筆3本や筆4本の工作品）（図2.）で虹のような配色で描いたところ、「筆を貸して」と直ぐに真似をしたがる幼児に連結筆を渡した。どの様にするのかを教員・教諭に聞き、自らチャレンジしていた。数人の幼児は絵具が濁色になっても、その中で色味にこだわり更に絵具の混色を試していた。ある幼児は自分を中心点にしてぐる

りと丸い輪を描いた。グルグル表現の進化系であろうか。全身を使った描画法に改めて見惚れた。数名の園児が次々と巨大紙に上がって様々に描くうち、徐々に手足が汚れたことや、隣で行っている足あと遊びをした幼児が参入したことで、自然に手足へのボディーペイントへ移行した。(手に絵具を付けることをゾンビ手と云うらしい) この時、容器の絵具の純色は失われつつあったが、幼児は好みの色を手足のひらと甲に塗っては、自慢げに教員へゾンビ手を見せに来た。その後も積極的に手足へ絵具を塗り、ゾンビ手や靴下を履いたように絵具を塗った足で、手足のスタンプ遊びに興じていた。原始時代の人類が洞窟に手足の痕跡を残す行為を連想させられた。画面一杯に絵具が付いたころ、巨大紙の交換を願う幼児がいた。もっと描きたいという積極的な気持ちが表れていた。

2枚目の巨大紙(絵具遊び)では、キャラクターのアンパンマンを描くよう、教員・教諭らに希望する幼児がいた。教員が描いたアンパンマンよりも上手に描く幼児であった。その幼児は、日頃、興味の対象を良く観察しているのであろう。また、絵具流しを楽しむ幼児が現れた。絵具を紙上に次から次へと流し込み、マーブル模様を作りながら、絵具の泥んこ遊びにチャレンジしていた。教員は新たな刺激として中庭の植物の生葉を用いて、葉っぱの転写を行ったところ、その真似をする幼児が出てきた。ある幼児は「私もやってみたい」と言い、生葉の転写をした後、自ら落ち葉を数枚拾い集め、枯れ葉の転写を試みようとしていた。大人の行動を良く知見した上で、新たな考えが生まれ、自分なりの表現を実験する姿勢である。

3枚目の巨大紙(絵具遊び)は、紙上も体も絵具だらけの様相となった。ボディーペイントによる絵具まみれの幼児は、手足へのペイントに始まり、着衣にも絵具を塗るようになった。その要因は年少組の担任自ら紙上に座り、自分の着衣にペイントした影響が大きい。これにより幼児はより自由に絵具の泥んこ遊びにチャレンジすることも可能となった。教諭が保護者へ、園児が汚れてもよい服を着てくるように伝達していたことも大切である。教諭が保護者に信頼されているからこそこの教育活動である。また、水の入っていないプールで壁画を楽しむ幼児が、教員に珍しい色の絵具ジュースをヤクルト容器に入れて持って来た。「これは何だろう?」と聞くと、「オレンジジュース」と答えた。教員が「美味しそう」と返事をしたところ、色の異なるジュースを作っては運んでくれ、全部で3杯になった。ままごと遊びも両立できていて、面白い展開になっていた。絵具遊び時間の終わりごろには、砂場の砂を絵具に混ぜて異質な絵具を作る幼児。絵具を入れていたトレーの中に別色の絵具を流し込み、マーブル模様を楽しむ幼児もいた。このマーブル模様は自然の重力を利用した絵画技法表現でもある。教員は何も教えなくとも偶然性に気づくことができる幼児に驚かされた。そうして、幼児たちは巨大紙の作品3枚を完成した。それらの紙の交換時期は、常に幼児の方から教師に求めてきた。描くことに何度も挑戦したい気持ちが表れていた。



図1.) 巨大お絵かき(絵具遊び)



図2.) 連結筆

(2) 足あと遊び (図3.)

幼児たちは足あと遊びをする前に、靴と靴下を脱ぎ、脱いだ靴下を靴の中に入れ、きちんと下駄箱に入れた。靴を整理整頓する習慣が既に身についていた。その後、トレーの絵具を沁み込ませたスポンジに素足で乗り、両足に絵具を付けては活発に長い紙(長さ4m×幅1m)の上を走っていた。その足あと遊びを何度も繰り返す幼児もいた。幼児たちは足形が痕跡となるのを確認して喜んでいった。友達との色や形の違いを比べ、足あとの数が増えて行くのが楽しく好きなのであった。皆で協力して1つの大きな作品が出来上がっていった。画面が足あとで一杯になった頃、幼児の方から巨大紙の交換を教諭に求めてきた。巨大お絵かきと同じく、新しい紙に挑戦したいと願う積極的な気持ちを感じた。取り替えた紙(紙を裏返し)にも伸び伸びと表現する姿が見られた。



図3.) 足あと遊び

(3) プールで壁画 (図4.)

幼児は壁に貼られた紙に自由に描きながら、絵具の混色を各自が楽しんでいった。まるで、科学実験室の様な雰囲気もあり、絵具に水道水を加えては攪拌し、色とりどりの液体を作ったりしていた。一人の幼児は、先に述べたように教員へ絵具ジュースをプレゼントしてくれた。ままごと遊びの延長にもなっており、生きていくための家庭科(食)の基礎となる気がして興味深い。

完成した作品は、巨大お絵かき(2m×1.5m)3点、足あと遊びの長い作品(4m×1m)裏表の合計4点、水の入っていないプールで壁画(2m×1.5m)2点である。



図4.) プールで壁画

2. 片付け

教員たちが汚れたシートをホースで水を撒きながらデッキブラシで洗っていると、幼児はその真似をしたがった。幼児に水ホースやデッキブラシを渡すと、慣れない手つきではあっても、懸命に教員・教諭らの作業を真似て掃除をした。掃除中「上手だね」、掃除終わりの「ありがとう」を伝えると、幼児は満足した表情になっていた。教員等に認められ褒められたことの積み重ねが、幼児の確かな自信の糧となるのであろう。

3. 結果(描画活動等の観察を通じた感想)

幼児たちは巨大紙を用いてダイナミックな描画を楽しむことができた。通常のお絵かきより規制なく自由に解放された表現を体験した。幼児たちは教員・教諭や友達の行う事をよく見ている。真似を契機に自ら工夫したものへ変化させて行く。その代表的なことは、葉っぱのスタンプ用に幼児自ら枯葉を収集したこと。並びに、幼児が互いに服に絵の具を飛ばしたり、ゾンビ手で着衣を触ったりして、全身絵具まみれになったこと等である。担任教諭の行動をきっかけに、幼児は常識に囚われない、服を絵具で汚す行為に目覚めてしまったようである。嬉々として、まるで五感が弾けたようにも見えた。幼児は教諭やお友達の行為を真似しながら、教員・教諭の声かけや促しから学ぶ

良い循環が形成されていた。担任自らが絵具遊びを楽しむ行為や態度が幼児のモチベーションを上げていた（図5.）。

幼児たちには、自分が行った表現（筆跡、ゾンビ手、手形スタンプ等）をすぐに先生に見てもらいたいと云う欲求が観られた。これらは褒めて欲しい表れであり、認知欲求である。下記のアブラハム・マズローの欲求5段階²では、4段目の尊厳欲求（大人から認められたい等）の傾向が現れていた。



図5.) 幼児と教諭

■アブラハム・マズローの欲求5段階説（ピラミッド型）

第1階層：生理的欲求（食べたい等）

第2階層：安全欲求（家、健康等）

第3階層：社会的欲求（仲間が欲しい等）

第4階層：尊厳欲求（大人から認められたい等）

第5階層：自己実現欲求（自分の能力を引き出し、創造活動がしたい等）

* 第1階層～第3階層：低次の欲求（外的に満たされたい）、第4階層～第5階層：高次の欲求（内的に満たされたい）

幼児たちは上記の第1階層から第3階層までが満たされ、第4階層の尊厳欲求へ自然に繋がってきていると感じた。最上段（第5階層）の自己実現欲求（自分の能力を引き出し、創造活動がしたい等）に到達するためにも、巨大紙（絵具遊び）が精神的な基盤（自信等）となる要素を多く含んでいると考える。このお絵かきに集中し没頭している幼児は、第5階層の自己実現欲求に近づくような経験をしつつあり、将来、児童となる時の必要な心理段階を順に経験していると考えられる。

また、危険を顧みず、足あと遊びをする園児がいた。トレーの絵具を生足に付けて走り、少し滑ったりしてもまたチャレンジする。少々危険や苦痛があっても、成長しようとする気持ちの方が優位になっている。これは、ハーズバーグの「動機づけ・衛生理論」²による人間的な欲求が見受けられたことになる。

文部科学省の答申（現行学習指導要領・生きる力）³の中で、「幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要なものであり、幼稚園教育は、計画的に環境を構成し、遊びを中心とした生活を通して体験を重ね、一人一人に応じた総合的な指導を行うものである。また、幼稚園教育については、幼稚園教育要領⁴でその内容等が規定されており、幼稚園修了までに幼児に育つことが期待される心情、意欲、態度などを「ねらい」として示し、その「ねらい」を達成するために幼児が経験し、教師が指導する事項を「内容」として示している。」と記している。これらは描画活動の内容と重なり答申を遵守している。

この答申から文言を拾うと、「幼児の健やかな成長」、「義務教育の基礎が培われること」、「集団生活による人間関係の深まり」、「協同する経験」、「幼児の心が動かされる体験」、「好奇心や探求心」、「身体による表現」、「造形等に親しむ」、「認められる」、「自分の良さに気づく」、「自信をもって行動」、「家庭と信頼関係」などがある。描画活動はこれらの内容を網羅する内容となっており、人生の土台を培う確かな教育効果をあげていた。この描画活動は地域の「モデル校」の役割を果たす実践授業として、活用できる結果内容となった。「附属学校が、附属学校の特性を活かした先導的・実験的な学校教育の実践への取組」¹となったのである。

おわりに

今回の巨大紙の絵具遊びは家庭ではできない様な経験であると思われる。巨大紙の絵具遊びにより、「幼児たちの発想の豊かさ、着眼点の良さ、観察眼の鋭さ、色使いの美しさ」⁵が発揮された。それらの効果は幼児が自由奔放に創造することで表出すると考えられ、発達教育段階に相応しい描画活動と考える。また今回の描画活動は、自ら率先して幼児の輪の中に入り、教育実践する幼稚園教諭と大学美術教員の姿があった(図6.)。幼稚園教諭が年代を超えて相互理解と協力体制を整えていることで、大学美術教員の参加を可能にし、描画活動を実現できたと感じた。良質な教育環境を維持努力している高度な教育組織が、保護者との連携を図り、幼児の成長の喜びを共有していることを再認識できた。



図6.) 幼児と教諭・教員

謝 辞

本研究は、高知大学教育学部部長裁量経費(第3中期計画前半 附属校園共同研究)の助成金(代表:野角孝一「絵具遊び活動の検証 ―高知大学教育学部附属幼稚園での実践を通して―」)によった。ここに感謝の意を表する。

引用文献・参考URL

1. 国立大学附属学校の新たな活用方策について - 文部科学省
www.mext.go.jp/component/b_menu/.../1259551_15.pdf (2016/06/12に確認)
2. 「モチベーション(やる気)アップの法則」
マズローの欲求5段階説
ハーズバーグの動機づけ・衛生理論
<http://www.motivatoin-up.com/> (2016/06/12に確認)
3. 現行学習指導要領・生きる力
中央教育審議会総会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)」平成20年1月17日、pp.71-74
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/information/1290361.htm
4. 幼稚園教育要領 文部科学省
www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/ (2016/06/12に確認)
5. 子供のお絵描き嫌いを克服させたい!ママができるサポートを伝授 | MARCH(マーチ)
<http://maternity-march.jp/oekaki0626> (2016/06/12に確認)